Contents

2 市民憲章
3 市長あいさつ
4 70年のあゆみ
6 震災から復興へ
10 市民栄誉賞
13 70thお祝いスマイル＆たかはぎ自慢短歌
14 高萩大使
16 自然景観
18 歴史文化
20 高萩マップ
21 アウトドアフィールド
24 高萩ブランド
26 ふるさと納税
27 70年目のまちづくり『高萩市総合計画』
30 市議会
31 市勢要覧 資料編
36 市民の歌

高萩市市制施行70周年記念・市勢要覧特別版

Takahagi 70th

高萩市市民憲章

わたくしたちは、阿武隈の山なみを仰ぎ、太平洋の海ばらを望む自然に恵まれ、
歴史と伝統に輝く高萩の市民です。
わたくしたちは、高萩市民であることに誇りをもち、先人のあゆみをうけつぎ
若い力を伸ばしながら、住みよい、希望にみちたまちをつくるために、この憲章
を定めます。

1　自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう。
1　きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
1　礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう。
1　元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
1　思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう。

ごあいさつ

東は太平洋に面し、西は阿武隈山系が連なる山々、関根川と花貫川の清流は、肥沃な大地とともに、ふるさとの原風景を今に伝えています。また、先人から受け継がれてきた数々の地域資源は、今も時を超えて、いにしえの歴史を静かに語りかけてきます。

昭和29年11月23日に、高萩町、松岡町、高岡村の2町1村と黒前村及び櫛形村の一部が合併し高萩市が誕生しました。

市制施行70周年を迎えた今、恵まれた自然環境と歴史を活かした『市民主役のまちづくり』が進められています。

70年を振り返ると、林業、農業及び炭鉱を基盤として発展してまいりましたが、昭和40年代のエネルギー革命により、燃料の主流が石炭から石油等に転換されたことによる炭鉱の閉山をはじめとした、いくつかの困難な時代もありました。そのような中、工業団地の整備を進めるなど産業転換を図り、幾多の困難を乗り越え、継続して発展してきたことは、多くの先人の不断の努力と知恵によるものであります。

そして、その歴史の中に息づく思いを受け継ぎ、市民の皆さんと共に築き上げてきたのが今日の高萩市です。

この節目の年に市政を預かる私は、市民の目線に立って、真に必要な施策に取り組んで行かなければならないという強い想いがあります。

本市を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響による経済活動の停滞、就労形態の変化、人々の価値観の多様化など、大きく変化し続けています。社会の在り方や仕組みが移り変わる中で、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、あらゆる課題に迅速かつ的確に対応し、誰もが住みやすい地域社会の実現を目指すことが、新たな時代への対応であると考えております。

今後もさまざまな視点から政策課題を克服するための取り組みを進め、安心して暮らすことのできるまちづくりを皆様方とともに推進し、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継いでまいります。

この度、私たちの高萩市を知っていただくため、市制施行70周年記念・市勢要覧特別版を発行しました。多くの皆様にとって、高萩市の過去、現在、そして未来をご理解いただく一助となれば幸いです。

高萩市長　大部勝規

令和6年5月 第772号（2024年）

令和元年11月 第718号（2019年）

平成16年12月 第538号（2004年）

平成10年8月 第462号（1998年）

昭和55年4月 第241号（1980年）

昭和37年6月 第75号（1962年）

昭和30年9月 第1号（1995年）

令和2年6月 第725号（2020年）

平成25年6月 第641号（2013年）

平成13年2月 第492号（2001年）

昭和63年4月 第338号（1988年）

昭和47年1月 第145号（1972年）

高萩市 70年のあゆみ

次世代へ誇りをもって伝承できる持続可能な地域づくりを目指し、
高萩市はさらなる歩みを続けます。

市報デジタル
アーカイブ

創刊号からの市報が、
いつでも、どこでも
見られます。

昭和29年（1954）	11月	23日 高萩町、松岡町、高岡村の2町1村と黒前村及び櫛形村の一部が合併して「高萩市」が誕生
30年（1955）	5月	高萩市制祝賀式典を挙行
	9月	「高萩市生活改善（市報たかはぎ）」第1号を発行
33年（1958）	8月	本町に市役所庁舎が完成
38年（1963）	11月	KDD（現KDDI）が茨城宇宙通信実験所を開設し、日米間テレビ中継に成功
		「ケネディ米大統領暗殺の悲報」を受信
40年（1965）	4月	高萩市消防本部（署）が発足
41年（1966）	7月	高萩ビーチガーデンがオープン
42年（1967）	2月	高萩炭鉱株式会社、高萩鉱閉山宣言・8月閉山
	3月	高萩家畜市場最後の馬市を開催（以後、牛市）
49年（1974）	3月	市の花「はぎ」市の木「まつ」市の鳥「きじ」を制定
	11月	市民憲章を制定
51年（1976）	5月	昭和天皇・皇后両陛下をお迎えして「第27回全国植樹祭お手まき行事」を開催
59年（1984）	4月	高萩・北茨城広域工業用水道企業団が設立
62年（1987）	8月	高萩家畜市場最後の牛市を開催
63年（1988）	3月	常磐自動車道、高萩ICまで開通
平成元年（1989）	1月	「穂積家住宅」が県文化財に指定
	4月	山形県新庄市と友好都市の盟約調印
3年（1991）	11月	花貫渓谷「汐見滝吊り橋」が完成
8年（1996）	7月	高戸小浜海岸が「日本の渚・百選」に選定
11年（1999）	1月	「松岩寺の山桜」が県文化財（天然記念物）に指定
	10月	花貫川第一発電所第三水路橋（通称「めがね橋」）が国の登録有形文化財に登録
12年（2000）	8月	高萩市総合福祉センターがオープン
	12月	高萩ビーチガーデン閉鎖
14年（2002）	5月	日本加工製紙株式会社が自己破産
15年（2003）	11月	埼玉県飯能市と友好都市の盟約調印
17年（2005）	4月	内閣府による構造改革特区を活用し、「ウィザス高等学校」（現、第一学院高等学校）が開校
	11月	国土交通省が土岳を「関東富士見百景」に選定
19年（2007）	3月	KDDI茨城衛星通信センター閉所式
		44年の歴史に幕
20年（2008）	3月	高萩工業高校、松丘高校が閉校し高萩清松高校創立
21年（2009）	6月	茨城衛星通信センター跡地に茨城大学宇宙科学教育研究センター宇宙電波館が開設
		東日本大震災が発生、高萩市で震度6強を観測
23年（2011）	3月	臨時災害放送局「たかはぎ災害FM」が開局
24年（2012）	6月	仮設庁舎で市役所業務を開始
	10月	コミュニティFM「たかはぎFM」が開局
25年（2013）	4月	常陸国風土記勅撰一三〇〇年記念事業開催
	5月	高萩工業高校跡地に、明秀学園日立高校「明高館」が完成
	9月	君田小学校・中学校が閉校
29年（2017）	3月	「高萩スカウトフィールド」がオープン
	8月	市役所新庁舎が完成
	9月	東京日比谷で長久保赤水特別展示
30年（2018）	7月	郷土の先人の功績を全国に発信
		デマンド型乗合タクシー試験運行開始（山間地）
	8月	旧君田小学校・中学校跡地にドローンスクール
	12月	「高萩ユーフィールド」が開所
令和元年（2019）	7月	「はぎビレッジ」がオープン
	10月	いきいき茨城ゆめ国体（ウエイトリフティング・軟式野球）が開催
		デマンド型乗合タクシー試験運行開始（高戸常磐線東・赤浜地区）
	9月	長久保赤水関係資料（六九三点）が国の重要文化財指定
3年（2021）	4月	市立図書館が読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞
	10月	たかはぎアウトドアシンポジウムを開催
4年（2022）	4月	市立たかはぎ認定こども園が開園
		「My Ride のるる」本格運行開始
5年（2023）	4月	北茨城市と共同設置した高北清掃センターが稼働
	10月	中央公民館を総合福祉センター内に移転
6年（2024）	4月	

復興へ向けて

各避難所用に毎食5,000食を調理

約5,000人の市民が避難　学校施設等14箇所で避難所開設

避難などの状況

【市災害対策本部の設置】平成23年3月11日午後2時50分
【避難勧告発令】平成23年3月11日午後2時50分
【避難勧告解除】平成23年3月13日午後5時58分
【避　難　箇　所】14箇所
【避　難　者　数】4,845人

給水作業、その他さまざまな活動で活躍した自衛隊

停電、水道管損壊により市内全域が断水。市内各所に給水車5台を配置

避難状況と支援状況

(1)避難誘導
・避難所：14箇所開設　避難者数：最大時4,845人
(2)救援物資件数　261件
・主な物資：米6,000kg、水500㎖×86,000本、
非常食58,000食ほか
(3)人的支援
自衛隊、飯能市、新庄市、境町、狭山市、入間市、
海津市、犬山市、新宮市、田辺市、守谷市、戸田市、
滑川町、東松山市、所沢市、茨城県、
日本医師会災害医療チーム、北九州市医師会、
多賀医師会、茨城県看護協会　ほか
(4)支援金・義援金
1,010件　212,626,384円

高萩駅前やスーパー駐車場で「復興祈念青空市」を開催

被害状況

(1)人的被害　死者1名、重傷者2名、軽傷者18名　計21名
(2)建物被害
全壊222棟、大規模半壊205棟、半壊971棟、
一部損壊4,305棟
(3)道路被害　市道通行止め23路線、県道通行止め3箇所
(4)上水道被害　市内全域で断水　3月23日全線通水
(5)工業用水道被害　市内全域で断水　4月13日全線通水
(6)電気被害　市内全域で停電　3月15日全域通電
(7)津波被害　床上浸水10件、　床下浸水18件
（津波による河川からの逆流等）
・赤浜は防波堤を超え、農地に浸水
・前浜は防波堤を超える波
（防潮堤付近に船舶の残骸）
※津波の高さは3m程度

急ピッチで復旧作業を行うJR常磐線（開通4月7日）

避難所となった総合福祉センターで炊き出し配布

ARCHIVES

東日本大震災の記録

倒壊した家屋

津波で冠水した東小学校の校庭

大谷石の塀、その多くが倒壊

松久保工業団地の東側斜面(赤浜)崩落

地震で崩落した高戸小浜

M9.0激震の爪痕

壁が崩れた市役所第3庁舎

蔵書が落ちた市立図書館の書架

地震の状況

【発 生 日 時】平成23年3月11日（金）午後2時46分
【震　源　地】三陸沖北緯38度6.2分、東経142度51.6分
宮城県牡鹿半島沖約130km付近
【震源の深さ】約24km
【地震の規模】マグニチュード9.0
【震　　度】高萩市本町6強、安良川6強
【警報などの発表】
平成23年3月11日午後2時49分　茨城県に津波警報発令
平成23年3月11日午後3時14分　大津波警報に切り替え
平成23年3月12日午後8時20分　津波警報に切り替え
平成23年3月13日午前7時30分　津波注意報に切り替え
平成23年3月13日午後5時58分　津波注意報解除

ARCHIVES

復興へのあゆみ

東日本大震災から13年
～みんなが豊かさを実感できるまちを目指して～

平成25年［2013］
平成24年［2012］
平成26年［2014］
平成27年［2015］
平成28年［2016］
平成29年［2017］
平成30年［2018］
平成31年 令和元年［2019］
令和2年［2020］
令和3年［2021］
令和4年［2022］
令和5年［2023］

2013

平成25年11月
復興産業祭

市内の商工業者や団体など108のブースが参加し、特産物の展示販売を行い、大勢の来場者で賑わいました。

2017

平成29年７月
市役所新庁舎竣工

2018

平成30年
デマンド型乗合タクシー

山間地域（旧高岡地区）や高戸常磐線東・赤浜地区に予約制デマンド型乗合タクシーを導入。固定の運行時間でご利用いただけます。

2018

平成30年
高萩ユーフィールド

廃校を活用したドローンスクールを開校。（一社）日本UAS産業振興協議会（JUIDA）認定のドローンスクールで、広大なフィールドを活用してドローンの操作技術と専門知識が学べ、修了後にJUIDAの証明書が交付されます。

2019

令和元年７月
Hagi Village

茨城県最大のダム「小山ダム」のほとりに誕生した、アウトドアフィールド。カヌーやサップ、グランピング、釣り、車中泊など豊かな自然を活かしたアクティビティ施設が集合し、さまざまな自然体験が楽しめます。

2022

令和４年４月
市立たかはぎ認定こども園

「乳幼児期の教育及び保育を一体的に行い、豊かな人間性と心身の発達を促す」を教育理念に掲げ、笑顔あふれる萩っ子の育成を目指しています。

2022

令和４年10月
MyRideのるる 本格運行

お出かけ前にスマートフォンや電話で予約でき、従来のバス停以外でも乗り降りできる便利なバス。運行時間・区域内であれば、いつでも、だれでも、どこへでもお連れします。

2023

令和５年４月
高北清掃センター本稼働

市民栄誉賞

市民に希望と活力を与え、広く市民から敬愛され、本市の誇りとなる顕著な業績があったものに贈られる『市民栄誉賞』。

受賞された方々の栄誉をたたえるとともに、各分野で活躍されている4人をご紹介します。

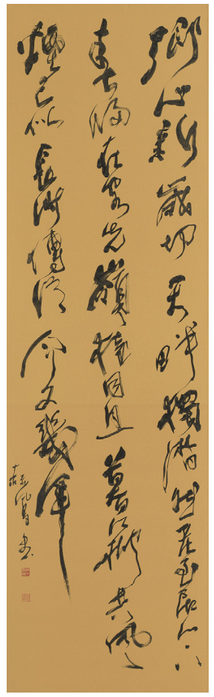
［書家］

鈴木（すずき） 赫鳳（かくほう）

書に囲まれて成長し、父である鈴木雲鳳（うんぽう）氏と日本芸術院賞の殿村藍田（とのむららんでん）氏に師事。

1989年日展に初入選してから20回の入選を数え、2014年と2016年には特選に選ばれました。2023年第10回日展で審査員に就任され、翌年日展会員に。このほか、読売書法展など数々の栄誉ある賞を受賞。

名実ともに著名な書家として、書道愛好家の育成・指導にあたられ、平成26年から市文化協会会長として、芸術文化振興にご尽力されています。



第10回日展（2023）劉長卿詩

2016年 市民栄誉賞受賞

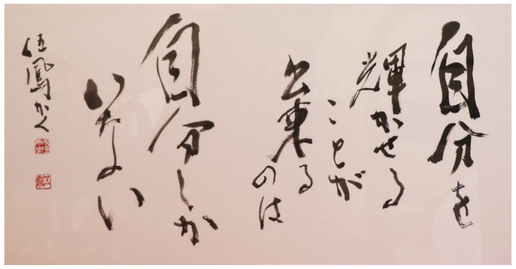
［書家］

時崎（ときざき） 伍鳳（ごほう）

社会人になってから始めた旧勤労青少年ホームの書道教室をきっかけに書の道へ。その後、故鈴木雲鳳（うんぽう）氏と鈴木赫鳳（かくほう）氏に師事。

30代半ばごろから数々の賞を受賞され、2014年日展から5度の入選。2021年と2023年日展において特選を受賞されました。

日展会友、読売書法会常任理事、茨城書道美術振興会常任理事、市書道連盟理事長などを歴任されています。



第10回日展（2023）李白詩

2024年 市民栄誉賞受賞

［陶芸家］

下山田（しもやまだ） 昌右（しょう）

「創作が人生のすべて」と語る下山田昌右氏。京焼三星窯 和田清氏と唐津焼 中里太郎右衛門氏に師事。女性の陶芸家が少ない時代、門徒になるのも難しく、その後も過酷な修行の道を歩まれます。

1979年に日展に初入選、以後入選23回、無鑑査1回。数々の展覧会での受賞に加え、1998年日展では特選を受賞。現在は時折の個展や生徒とともに企画展示を行っています。

「野の花に心をとめ、多くの人と感動を共に平和な社会になることを願って作品を作り続けたいです」。

第30回日展特選（1998）『追憶』

2024年 市民栄誉賞受賞

「コントラルト歌手　声楽家」

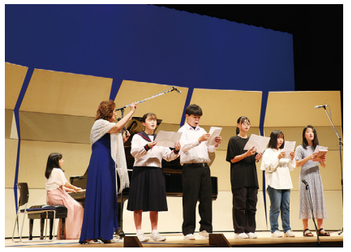
國井 美香（くにい みか）

高萩市春日町出身。武蔵野音楽大学声楽科を卒業後、東京音楽大学研究科オペラコースへ。二期会オペラスタジオ研究生・文化庁国内研修員として研鑽に励まれ、日伊声楽コンコルソで入賞されました。

1989年に伊・ローマへ留学。フランチェスコ・パオロ・ネーリア国際声楽コンクール優勝。

2005年にローマ教皇を前に日本人初の御前演奏を果たし、2021年には音楽界の功績がたたえられ、「トーマス・シッパーズ国際賞・声楽特別賞」を受賞。

現在は、イタリア・レザーナ市に在住し、声楽の楽しさを広める普及活動と声楽を志す人の育成に取り組まれています。



2023年8月、コンサートに加えて中学生の歌唱レッスンを公開。発声の指導を通して、声楽の楽しさを伝えます。

レザーナ市の様子

2009年 市民栄誉賞受賞

市制施行70周年を迎えるにあたって

遠方から70年という歴史あるふるさとを思う時、どのような町並みで、当時の人々は何を考えていたのだろうかと思いを馳せています。

私が幼い頃、「月面着陸に成功した」というニュースが飛び込んできて、人類初めての出来事だと教えてもらったことを覚えています。映像はモノクロからカラーになり、人工知能も発展してきました。

しかしながら、便利すぎる時代でも人間としての理想的なあり方は、常に保たなければならないと考えるところです。そして、それを子どもたちに伝えていくことは、大人の義務ともいえるのではないでしょうか。

市制施行70周年の節目に、目的と希望を掲げ、将来を展望することは大切です。未来への新たなる出発点として、市政と市民が一丸となることが、高萩市の発展へ繋がるに違いないと、私は確信しています。

國井 美香

市制70周年記念

たかはぎ自慢短歌

【自由部門】

最優秀賞

赤水や　海山川に　魅せられて
未来につなぐ　夢を育む

優秀賞

万葉に詠まれし岬　高戸浜
千歳変わらぬ日の出　拝みぬ

入選

見上げれば　緑の隙間に　見える青
潮風香る　白い砂浜
きれいだな　海が輝く　太陽で
静かな夜明け　高萩海岸
そよかぜと　滝の響きを　耳にする
河童も生きる　伝説の滝

【下の句部門】

最優秀賞

（たかはぎの　ここが大好き　教えるよ）
山の土岳　海の白砂

優秀賞

（たかはぎの　ここが大好き　教えるよ）
花貫渓谷 海見えるダム

入選

（たかはぎの　ここが大好き　教えるよ）
江戸の街並み　お屋敷通り

（たかはぎの　ここが大好き　教えるよ）
花貫3（み）滝 ゆいれい草花（そうか）

（たかはぎの　ここが大好き　教えるよ）
富士を望める　冬の土岳

高萩大使

The Ambassadors of Takahagi City

人生の歩みの中で
高萩とつながる

景色・風・匂い
思い出とともに
よみがえる
ふるさと高萩

自分を信じ
それぞれのステージで
自分らしく輝き
歩み続ける

大使の皆さんに
高萩のよさを
広めてほしい…

思いを託します

The Ambassador

大藤 晋司（だいとう しんじ）

テレビ北海道アナウンサー

ふるさと高萩が１位

小学４年生から高校卒業までを高萩で暮らした大藤さんは、テレビ北海道のアナウンサーとして活躍。ニュース番組をはじめプロ野球、スキージャンプ、バスケットなどの競技実況を担当。

かつての情報番組『ズームイン!! 朝!』に出演し、熱い野球解説をするキャスターとして記憶している人も多いのでは。

中学、高校時代、ラジオの深夜番組を夢中で聴いていた大藤さん。

石滝の衛星通信センター（現・さくら宇宙公園）のおかげで関西などの番組が高感度で聴けたことにより、「言語感覚が研ぎ澄まされました。あの体験がなければアナウンサーにはなれなかった。その意味でも私は“高萩が生んだアナウンサー”です」

言葉はその人にとって”ふるさと”そのもの。

これからも”故郷・高萩”を背負って、言葉を紡いでいきます。

Profile

大藤 晋司　Shinji Daito

1991年　中京テレビ放送（愛知）入社
2003年　テレビ北海道アナウンサー
2019年　報道制作局 アナウンス部長
2023年　アナウンス部チーフプロデューサー
2010年～ 高萩大使

The Ambassador

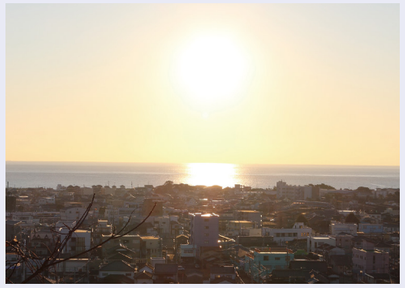
鈴木 珠美（すずき ますみ）

ベトナム料理研究家　ベトナム料理「Kitchen」オーナー

高萩を元気にしたい

西麻布のベトナム料理店を営む鈴木珠美さんは、ベトナム料理や文化など多くの著書を執筆し、料理番組にも出演。ベトナム料理を広めたいと、料理教室やイベント、動画配信も行っています。

高校卒業までを高萩で暮らし、1冊の料理本をきっかけにベトナム料理を学びたいと留学を決めます。「ベトナム語も分からず、知り合いもいなかったけど何とかなるかと。現地の学校で料理を教えてもらい、翌日に自分で食材を買って作ってみる」を繰り返した２年間。「諦めなかったのは、ベトナムが大好きだから」。高萩を元気にしたいと、市報たかはぎへのレシピ提供やベトナム料理教室の講師などにご協力いただいています。



Profile

鈴木 珠美　Masumi Suzuki

1999年　ベトナムへ留学
2002年　西麻布に「Kitchen」を開店
2013年～ 高萩大使

The Ambassador

平田 篤州（ひらた あつくに）

元産経新聞東京本社編集長（一社）「檸檬新報舎」代表理事 福祉新聞社・関西支局長

光る海と青春の地

5歳から高校2年生までを高萩で暮らし、大阪の編集プロダクションで理事を務める平田篤州さん。「ふるさとの高萩を思う時、光る海が目に浮かび、正に青春の場所です」と目を細めます。

子ども時代を尋ねると「中学校で生徒会長を務めた時に壁新聞を作成したこと。高校時代の弁論大会出場や出版委員会の新聞作りが楽しくて好きでした」と振り返ります。

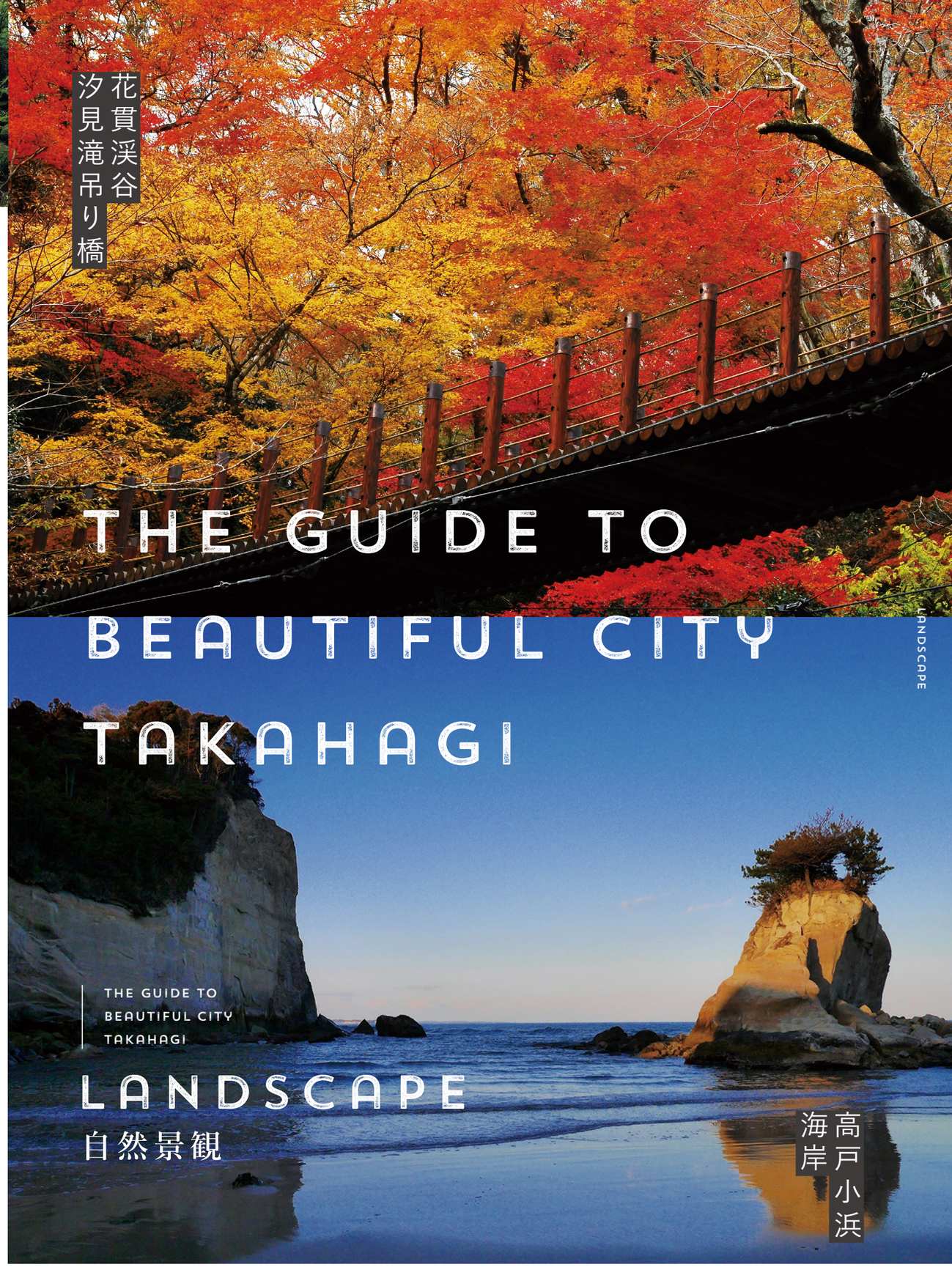
産経新聞社へ入社後、「グリコ森永事件」「ソウル五輪」「北朝鮮拉致被害者帰国」などを取材。優れた人権報道などに贈られる坂田ジャーナリズム賞を２度受賞。論説委員として社説を執筆、テレビのコメンテーターも務められました。

退職後、社会福祉法人理事長、化粧品会社顧問を経て、現在は、檸檬新報舎で新聞発行、本の出版を進める一方、福祉新聞社や大阪ユニセフ協会の仕事を兼務されています。

Profile

平田 篤州　Atsukuni Hirata

1975年　産経新聞大阪本社 入社
2000年　産経新聞東京本社 編集長
2009年　産経新聞東京本社 執行役員・総合企画室長
2016年　（一社）「檸檬新報舎」創立 代表理事・編集長
2014年～ 高萩大使



滝山渓谷

さくら宇宙公園

春は新緑、秋は紅葉した木々が人々を魅了する**花貫渓谷**。渓谷にかかる長さ約60メートルの汐見滝吊り橋からの眺めがすばらしく、特に秋は、川沿いに生い茂る木々の枝が吊り橋の左右からせり出し、華やかな紅葉のトンネルを創ります。

滝山渓谷は、大北川の上流部に位置する渓谷です。県道から600メートルほどのところにある下滝には観瀑台が設置されており、迫力ある滝を堪能することができます。また、渓流に沿い上滝まで100メートルほど続く遊歩道では、四季の移ろいを楽しむことができます。

また、日本初のテレビ衛星中継が行われた衛星通信センター跡地を整備した**さくら宇宙公園**もおすすめです。2基のパラボラアンテナは現在、国立天文台茨城観測局・茨城大学宇宙科学教育センターの電波望遠鏡として活用されています。公園内にはソメイヨシノや八重桜など約300本の桜が植樹されており、桜の名所となっています。

「遠妻し高にありせば知らずとも手綱の浜の 尋ね来なまし」と万葉集に詠まれた「手綱の浜」は、**ささき浜**周辺と伝えられています。そびえるように立つ海食崖を背に、太平洋の広い大海原が見渡せるこの浜では、北野武監督の映画「HANA-BI」やNHK大河ドラマ「義経」、「龍馬伝」などの撮影も行われました。

高秋霊園から海岸部の海食崖に沿って続く遊歩道「**万葉の道**」。ささき浜をはじめ、北茨城市やいわき市の海岸線に沿って伸びる大海原を見渡すことができます。

高秋海水浴場は、透き通るような青い海と、輝く白い砂浜が魅力の海水浴場として人気です。シーズンには多くの海水浴客で賑わいます。常磐道高萩ICから車で約15分、高萩駅からは徒歩で約10分と交通の便もよく、一日ゆっくりと海水浴を楽しむことができます。

「日本の渚・百選」にも選ばれた**高戸小浜海岸**は、切り立った海食崖に挟まれた二つの入り江をもつ風光明媚な海岸です。古くから景勝地として知られており、文化年間に作られた「松岡八景」に〝高戸の帰帆〟として記されています。シーズンには磯遊びを楽しむ家族連れで賑わいます。

ささき浜

万葉の道

高萩海水浴場

年間行事

SPRING

□ **高萩桜まつり**
桜並木と2基の巨大なパラボラアンテナの絶景を楽しめる。

□ **丹生（たんしょう）神社の棒ささら**
お囃子にあわせて、3体の獅子頭が舞い地域の安全、五穀豊穣を願う。

□ **新緑そばまつり**
市内の愛好家でつくる地元産のそば粉を使った手打ちそばが堪能できる。

SUMMER

□ **七夕ページェント**

□ **海開き**

□ **高萩まつり**
高萩の夏を彩る一大イベント。夜には打ち上げ花火も。

AUTUMN

□ **下君田のささら**
400年以上前から続く伝統芸能。市無形民俗文化財。

□ **市民歩く会**

□ **産業祭**
高萩で活躍する企業、生産者、商店が一同に集合。
ステージイベントも楽しめる。

□ **紅葉まつり**
花貫渓谷一帯が赤や黄色に色づく景色はまさに絶景。

WINTER

□ **光のページェント**
高萩冬の名物詩。駅前が色とりどりの灯りでライトアップされる。

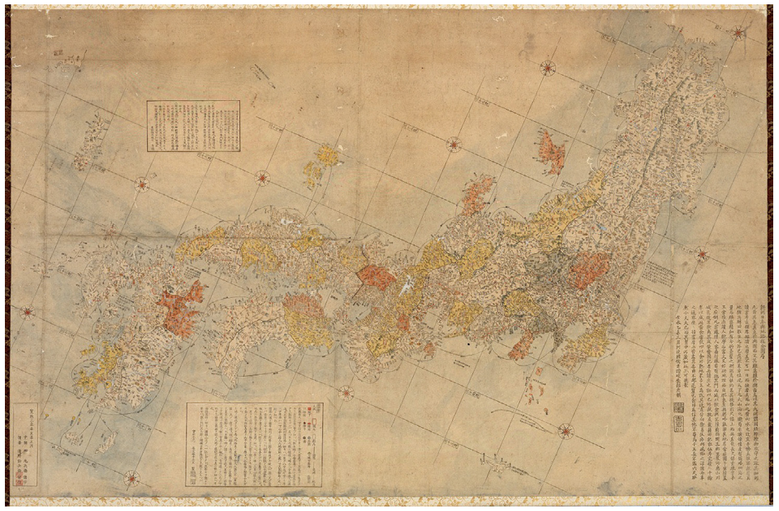
□ **君田のジャンボクリスマスツリー**
高さおよそ33ｍの大木に電飾を飾りつけたジャンボクリスマスツリー。

□ **元旦神輿渡御（とぎょ）**
元旦の日の出とともに、多くの担ぎ手に担がれた神輿が海に入っていく姿は圧巻。

国指定重要文化財

改正日本輿地路程全図（通称 赤水図）

長久保赤水銅像（高萩駅前）



改正日本輿地路程全図（通称 赤水図）

長久保赤水（1717～1801）

赤浜村の農家に生まれ、苦学の末に6代水戸藩主徳川治保の侍講（教師）となった地理学者・**長久保赤水**は、日本地図『**改正日本輿地路程全図**』を刊行しました。

『改正日本輿地路程全図』は、20有余年をかけ完成され、日本初の緯線を用いた日本地図は、約100年もの間人々に愛用されました。この地図は伊能忠敬や吉田松陰も携帯したとされています。

2017年には生誕300年の記念行事として、歴史民俗資料館で特別展が開催されました。また、2020年には、赤水図をはじめとする資料693点が国の重要文化財に位置づけられました。国民的財産に位置づけられました。

市指定文化財

釈迦如来座像［能仁寺］

鎌倉時代後期に彫られた能仁寺の本尊です。渦が刻まれた螺髪、適度な装飾と動きのある彫り口など、当時の作風を示す重厚な作りです。

県指定文化財

絹本著色観経十六観変相図［大高寺］

1300年頃の高麗（現在の朝鮮半島）制作の絵画と推定される貴重な作品です。阿弥陀如来の観想法が描かれています。

市指定文化財

胎蔵界曼荼羅図［大高寺］

大日如来を中心に、八葉蓮弁に四仏・四菩薩を交互に配し、般若・釈迦・普賢・観音などの諸仏を配置した曼荼羅図です。災いを除いて即身成仏する教理を示しています。

THE GUIDE TO BEAUTIFUL CITY TAKAHAGI

HISTORY & CULTURE

歴史文化

県指定文化財

穂積家住宅

母屋、長屋門、前蔵、衣裳蔵、庭園からなる**穂積家住宅**。寄棟造りに一部入母屋造りを入れ、茅などを重ねて葺いた屋根を持つ母屋は、安永2年（1773年）の建造です。江戸時代に描かれた屋敷絵図もほぼ現状をとどめ、当時の豪農住宅を知る貴重な文化遺産となっています。令和4年度には、茅葺屋根の葺替工事を行い、劣化した茅や破損した部材の交換を行いました。

花貫川第一発電所第3号水路橋は、大正7年に花貫川から水力発電用の水を引くために造られた水路橋で、長さ77・4メートル、幅2・1メートル、地上からの高さは22・4メートルあります。両側の山に向かって二つのアーチを作る姿が「めがね」のように見えることから、通称「めがね橋」と呼ばれています。

安良川八幡宮の爺杉は、安良川八幡宮の境内にある、推定樹齢千年といわれる県内最大級の杉で、大正13年に国の天然記念物に指定され、高萩の歴史を知る守り神です。

松岩寺のヤマザクラは、推定樹齢約300年。樹の高さ12メートル、根元周囲5・6メートルの巨木です。4月中旬～下旬に花を咲かせることから、稲作の種まきの時期を知らせる花暦としても親しまれています。

国登録有形文化財

花貫川第一発電所第3号水路橋

県指定天然記念物

松岩寺のヤマザクラ

国指定天然記念物

安良川八幡宮の爺杉

Hagi Village
はぎ ビレッジ

Hagi Village（はぎ ビレッジ）は、茨城県最大のダム「小山ダム」のほとりに誕生した、注目のアウトドアフィールド。豊かな環境を生かしたアクテビティ施設が集合し、キャンプやカヌーなどさまざまな自然体験を楽しむことができます。

THE GUIDE TO BEAUTIFUL CITY TAKAHAGI

OUTDOOR FIELD
アウトドアフィールド

オートリゾート

車の横にタープやテントを張り、「何もしない贅沢」が味わえるアウトドアフィールド（車中泊スポット）。手ぶらバーベキューやペット連れにも安心なドッグランも完備。

ブッシュクラフト アウトドアフィールド／ブッシュ＆レイク

焚き火料理や枝木を使ったクラフトなど本格的な「ブッシュクラフト」が楽しめます。たくさんの木陰と小川も流れているので夏の避暑地としても最適です。

ストームフィールドガイド

広大な自然に育まれ豊かな水源地と自然美に包まれた小山ダムで、人気のアクティビティやグランピングが同時に楽しめます。日常から解放され、癒しの時間が満喫できる最高のスポット。

ふれあいの里 フィッシングエリア

釣り場とキャンプ場があり、釣った魚を食堂で調理してもらったり、バーベキューで食べたりできます。自然を利用した多くの池があり、釣り場の雰囲気でポイントを決められます。

高萩市上君田1791
TEL 0293-28-0814

土岳

標高599.7メートルの土岳。
山頂は、広い芝生で覆われ、気軽に山の自然を楽しむことができます。
山頂にある展望台からは筑波山のほか、冬季には雪をかぶった富士山や那須連峰などを望むことができ、大パノラマが広がります。

高萩市中戸川地内

OUTDOOR FIELD

PICK UP

大和の森 高萩スカウトフィールド

2017年にオープンした約82万坪の広大な野外活動体験施設で、ボーイスカウト日本連盟が所有する2つの野営施設のうちの1つです。さまざまな野外活動が体験でき、50人程度のキャンプが楽しめます。デイキャンプや、子ども会の野外活動「サマージャンボリー」などで利用されています。

高萩市中戸川412
TEL 0293-44-3551

（公財）ボーイスカウト日本連盟水野理事長と大部市長

たかはぎ キャンピングパーク （花貫ふるさと自然公園センター）

杉木立に囲まれた木漏れ日が心地よいキャンプ場。近くの遊歩道からは花貫ダムを望み、周囲には名馬里ヶ淵、花貫渓谷などの豊かな自然を身近に感じることができます。

高萩市秋山2989-14
TEL 0293-24-2331

けやき平キャンプ場

土岳の中腹にあり太平洋を一望できるキャンプ場。サイトには芝生が張られ、かまど料理もでき家族連れにも充実の設備。土岳山頂までの登山道も整備され、ハイキングコースとしても人気。山頂の展望台からは360度のパノラマも楽しめます。

高萩市中戸川1483-10
TEL 0293-28-0037

小滝沢キャンプ場

花貫渓谷の上流部に位置し、近くに流れる花貫川のせせらぎが心地よいキャンプ場。
小さな淵が連なる花貫川と枝を縦横に広げた広葉樹に囲まれ、四季折々の豊かな山の自然を楽しむことができます。
また、浅瀬の淵では水遊びもでき、近くには不動滝や乙女滝があります。

高萩市大能地内
TEL 0293-23-7316

高萩ユーフィールド

廃校を活用したドローンの操縦体験もできるキャンプ場。広大な校庭を取り囲むようにオートキャンプサイトとテントキャンプサイトが配置され、開放感ある眺めは最高。大自然に囲まれ、キャンプサイトとして提供しているグラウンドは、約20,000㎡もの広さがあります。

高萩市下君田682
TEL 0293-28-0071

花貫フルーツほおずき

独特の甘酸っぱさと種の触感が楽しいと評判のフルーツほおずき。秋口には、東京の一流料理店でも「注目の旬の食材」として取り扱われています。高級贈答商品として、郷土工芸品「西ノ内和紙」を使用した化粧箱に「秀逸品」だけを詰めた逸品も。

清流の郷 花貫物産センター
高萩市大能1100-2
TEL 0293-28-0808
生産者：花貫フルーツほおずき倶楽部
（TEL 090-1606-5348）

花貫フルーツほおずきのバスクチーズケーキ

甘酸っぱく香り高い花貫フルーツほおずきと高級クリームチーズを使って焼き上げた濃厚なバスクチーズケーキ。

おかしやQuemaQuema
高萩市高戸149-3-105
TEL 0293-24-8776

八千代おこし／高萩せんべい／はぎまろワッフル

八千代おこしは、香ばしい落花生入りのやわらかい口当たりと優しい風味が特徴のお菓子。全国菓子大博覧会にて、名誉総裁高松宮賞を受賞。

（有）永寿堂
高萩市安良川679
TEL 0293-22-2002

はぎまろクッキー

『はぎまろ』の顔が描かれた、食品添加物不使用の手作りクッキー。
ミルク、黒糖、カボチャ、紫いもの４つの味が楽しめます。

NPOウィッシュ はっぴぃ・べる
高萩市下手綱1480-7
TEL 0293-22-2999

高萩ほおずき／高萩ほおずきタルト／高萩ほおずきジャム・バター／ドライ高萩ほおずき

農薬・化学肥料・除草剤不使用で育てた高萩ほおずき。粒が大きいのが特長。ほおずきを加工して作ったジャム・バターやドライフルーツもおすすめ。

結農実WORKS
高萩市上君田1030
TEL 090-5203-1092

高萩 真心一魂

花貫川の清流で育った酒米「美山錦」を使用。2017年の販売開始以降、すっきり飲みやすいと好評を博しています。

（一社）高萩市観光協会
高萩市春日町3-10-16
TEL 0293-23-2121

高萩ブランド推奨品

優れた素材や技術を活かした高萩らしい地域イメージを代表する産品です。

花貫清流米つきあかり

花貫川・大北川の豊富で清らかな水と阿武隈山地の穏やかな気候で育った大きい粒と艶が自慢。

精米専門工場フクダヤ
高萩市本町1-83
TEL 0293-22-3043

爺杉ボールペン

国の天然記念物「安良川八幡宮の爺杉」の枝打ち材を活用した筆記具。白木の風合いには趣があり、使い込むほどに艶が増す味わい深い逸品です。

たなつる工房
高萩市安良川189-3
TEL 090-3231-5291

宝来納豆 ふるさと自慢

粒のやわらかさが自慢の「国産大豆」で作った納豆。昔ながらの製法にこだわり、納豆本来の美味しさを伝えてくれます。

宝来 森田利雄商店
高萩市高萩1-1
TEL 0293-22-2220

高戸味噌

創業120年の老舗が手掛けた自慢の味噌。原材料にこだわり、高萩産の米・大豆に自家製麹を使用。味噌本来の味を楽しめます。

今川味噌店
高萩市高戸725
TEL 0293-22-4572

花貫ゆず味噌

高萩産のゆずを使用した万能味噌ドレッシング。大根、こんにゃく、里芋、生野菜などにそのままかけるだけで美味しく食べられます。

古時計
高萩市大和町3-36
TEL 090-7004-3011

愛娘みそ／めしどろぼうさん

安政元年（1854年）創業と長い歴史を刻む味噌蔵で、可愛い我が娘を手塩にかけて育てるように、愛情込めて作り上げた逸品。

たつご味噌醸造（株）
高萩市上手綱75
TEL 0293-23-5222

70年目のまちづくり

地域力が笑顔を育むまち 高萩

みんなが豊かさを実感できるまちを目指して

高萩市総合計画

1 健やかに笑顔で暮らしを支え合うまち

［保健・医療・福祉］

保健・医療・福祉の連携により、地域医療の確立が図られ、市民が心身ともに健康的な生活を送ることができる社会を目指します。
専門医療や高度医療との連携を強化し、病診連携体制の拡充により、笑顔で健やかに、相互に支え合って暮らす社会を目指します。

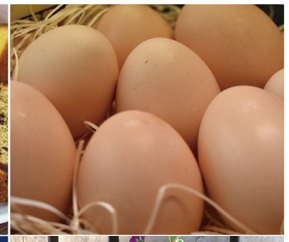
- 健康
- 地域福祉
- 少子化対策・子育て支援
- 高齢者福祉
- 障がい者・障がい児福祉
- 社会保障

2 未来を切り拓く地域人（萩っ子）が育つまち

［教育・文化］

一人一人の個性や能力、可能性を広げる教育内容を充実させ、生涯をよりよく生きるための豊かな心と健やかな体を持つ、いきいきとした萩っ子を育てます。
地域の特性や実態に合わせた指導体制や教育施設の充実に努め、豊かで安心して学べる教育環境を整備していきます。

- 学校教育
- 生涯学習
- スポーツ振興
- 市民文化



ふるさと納税返礼品

ふるさと納税の返礼品として、農畜産品や加工品などの特産品のほか、アウトドア体験や食事などのサービスを提供しています。

AND MORE...

3 地域力が経済活動を誘発する魅力あるまち

［ 経済・産業 ］

- 農林業
- 山間地域
- 商工業
- 観光

農業産出額の増加や新規就農者・担い手の育成・確保に取り組み、農業経営の安定化を図ります。
森林の環境保全機能や観光・レクリエーション利用の推進等、多面的機能の向上に努めます。

4 地域資源と暮らしが融合し継承されるまち

［ 生活環境 ］

- 自然環境共生
- 循環型社会
- 環境衛生
- 交通安全
- 消防
- 防災
- 防犯・消費生活

各主体の連携のもと協働でエネルギー利用の効率化や新エネルギーの利用促進等を図り、地域環境の保全に貢献する取組を推進します。
快適で健康的に暮らせるまちをつくるため、自動車排出ガスの抑制や排水等による環境負荷の低減等、生活環境の維持・向上を目指した取組を推進します。

5 風土を継承する強靭で柔軟な社会基盤づくり

［ 社会基盤 ］

- 都市計画
- 道路・河川
- 公共交通
- 水道水
- 水質保全
- 情報・通信

誰もが安全で安心に暮らせる、快適で魅力あるまちづくりを進めます。
コンパクトでありながら多様な機能を交通ネットワークで便利につなぐ、多種ネットワーク型コンパクトシティづくりを進めます。
民間活力の導入も検討しながら、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上を推進します。

6 共に生き、共に創り上げる持続可能なまち

［ 地域経営 ］

- 市民協働
- 市政経営
- 人権
- 男女共同参画
- 交流・連携
- 広報・広聴
- 移住・定住

市民一人一人がまちづくりの主役として活躍できるよう、地域コミュニティ活動の支援や情報発信に努めます。
まちづくりに多様な人・組織が参画できる体制を推進し、適切な役割分担に努め、時代や地域の実情にあったコミュニティ形成に取り組みます。

高萩市総合計画

高萩市総合計画

高萩市議会

市民の声を市政に生かし、明るい未来ある高萩へ

高萩市議会は、選挙によって選ばれた14人の議員で構成されています。

議会は、年4回、3月・6月・9月・12月に開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会において、市の予算や条例など市政を進めていく上での重要な事項について審議・決定しています。

本会議や委員会等は傍聴ができ、市議会活動や市政の方針を知ることができます。

また、議会だよりの発行、会議のインターネット中継、フェイスブックによる情報発信など、市民の皆さんに分かりやすい議会運営や開かれた議会づくりを心がけています。

［後列］

大平　望
髙久聡至
坪和久男
我妻康伸
渡辺悦夫
藤橋　隼
畠山結樹

［前列］

大森要二
吉川道隆
菊地正芳
寺岡七郎
今川敏宏
田所和雄
八木陽子

高萩市市制施行70周年記念・市勢要覧特別版

資料編

出生 年間 85人
結婚 年間 58組
転入 年間 719人
人口密度 1km² 135人
死亡 年間 442人
離婚 年間 36組
転出 年間 913人
火災 年間 12件
交通事故 年間 41件
救急 年間 1,726件
ごみ排出量 1日1世帯 1,584g
水道給水量 1人1日 327ℓ

□ 自然・位置

茨城県の北東部に位置し、
東 太平洋、
西 多賀山地が連なり、
その間を花貫川・関根川が流れて、
渓谷をつくっています。

□ 近隣都市

北 福島県東白川郡塙町・茨城県北茨城市に接し、
南 日立市、
西 常陸太田市に接しています。

□ アクセス

車でお越しの場合

◆南方面から
東京都内 → 常磐自動車道 約150km 約2時間 → 高萩IC
水戸IC → 常磐自動車道 約50km 約40分 → 高萩IC

◆北方面から
いわき中央IC → 常磐自動車道 約50km 約40分 → 高萩IC
仙台宮城IC → 東北自動車道／山形道・常磐自動車道 約200km 約2時間40分 → 高萩IC

電車でお越しの場合

◆南方面から
東京駅 → JR常磐線特急 約1時間50分 → 高萩駅
水戸駅 → JR常磐線 約40分 → 高萩駅

◆北方面から
いわき駅 → JR常磐線 約35分 → 高萩駅
仙台駅 → JR常磐線特急 約2時間50分 → 高萩駅

（令和6年1月1日現在）

人口 ……26,057人
世帯 ……11,427世帯
平均気温 ……15.8℃
降水量 ……1,595.5mm
海抜 ……7.2m
面積 ……193.55km²（県土の3.2%）

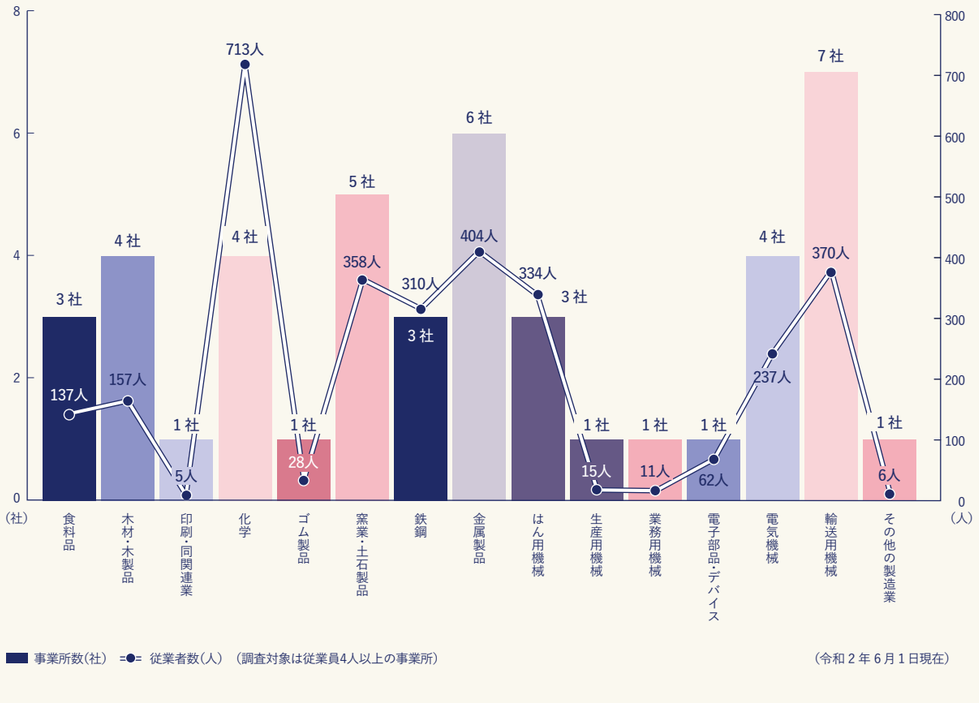
・市域85%が山林原野等
・耕地面積 1,038ha
（令和4年1月 国土地理院）

［緯度］東経140度42分33秒
［経度］北緯　36度42分40秒

TAKAHAGI CITY

産業

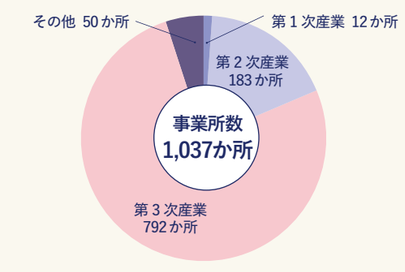
□産業別工業の状況（資料：工業統計調査）



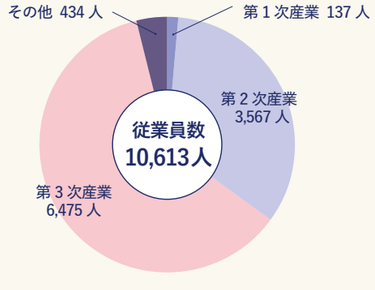
□産業大分類別 事業所・従業員数

（資料：令和3年 経済センサス活動調査）

◆事業所数

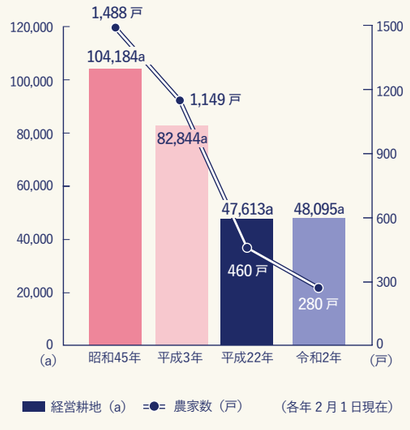


◆従業員数



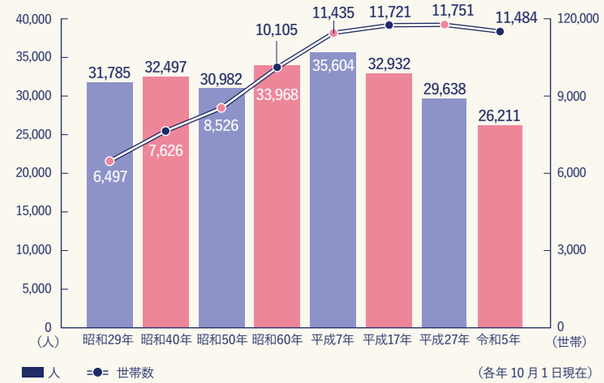
□農家数・経営耕地面積

（資料：茨城県農業基本調査 農林業センサス）

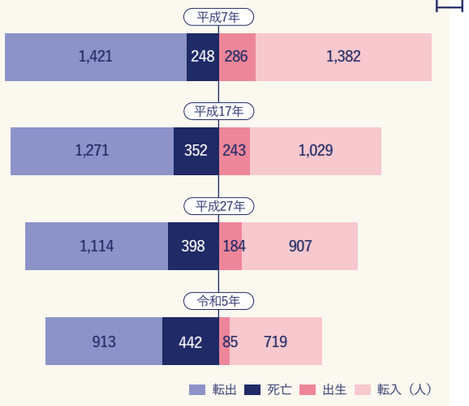


人口

□人口・世帯数の推移（資料：常住人口調査）



□人口動態の推移

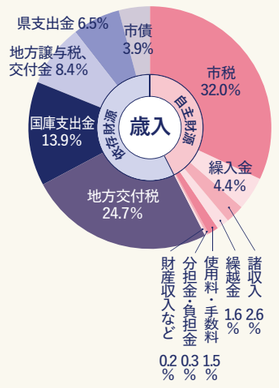


財政

□一般会計

◆歳入

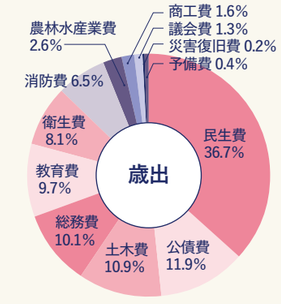
総額 **122億2,700万円**



- 市税 …… 39億1,405万円
  市民税・固定資産税など
- 繰入金 …… 5億4,238万円
  基金の取り崩しなど
- 諸収入 …… 3億1,880万円
  貸付金の元利収入など
- 繰越金 …… 2億円
  前年度からの繰越金
- 使用料・手数料 …… 1億8,018万円
  公共施設使用料・証明交付手数料
- 分担金・負担金 …… 3,957万円
  保育料など
- 財産収入など …… 2,096万円
  私有地貸付金など
- 地方交付税 …… 30億1,820万円
  市町村が等しく行政サービスを提供できるよう一定基準で国から交付されたもの
- 国庫支出金 …… 17億101万円
  国の補助金など
- 地方譲与税、交付金 …… 10億1,590万円
  国が徴収した税金からの分配金など
- 県支出金 …… 7億9,945万円
  県の補助金など
- 市債 …… 4億7,650万円
  建設事業などを行うための国・金融機関からの借入金

◆歳出

総額 **122億2,700万円**



- 民生費 …… 44億8,329万円
  高齢者・障がい者・児童の福祉など
- 公債費 …… 14億5,486万円
  国・金融機関からの借入金（市債）返済
- 土木費 …… 13億3,414万円
  道路・公園の整備、公営住宅の維持管理など
- 総務費 …… 12億3,699万円
  人件費、情報化推進などの市運営全般
- 教育費 …… 11億8,579万円
  幼・小中学校の管理、生涯学習・文化スポーツ振興など
- 衛生費 …… 9億8,701万円
  検診・予防接種、ごみ処理など
- 消防費 …… 7億8,974万円
  消防・救急活動、防災など
- 農林水産業費 …… 3億2,400万円
  農業、林業振興など
- 商工費 …… 1億9,426万円
  商工業・観光振興など
- 議会費 …… 1億6,432万円
  議会運営のため
- 災害復旧費 …… 2,260万円
  災害に伴う施設復旧など
- 予備費 …… 5,000万円

□特別会計 ―― 総額 61億6,470万円

- 国民健康保険 …… 28億1,800万円
- 後期高齢者医療 …… 5億1,900万円
- 介護保険事業 …… 28億450万円
- 霊園事業 …… 2,320万円

□企業会計 ―― 総額 15億7,772万円

- 水道事業 …… 12億2,593万円
- 工業用水道事業 …… 3億5,179万円

友好都市 FRIENDSHIP CITY

山形県新庄市

平成元年4月27日盟約

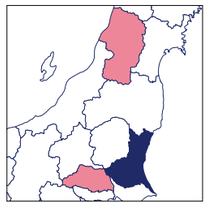
市制施行｜昭和24年
主な交流｜新庄まつり
　　萩っ子歴史探検隊など

高萩の松岡領主(1606年-1622年)を務めた戸沢政盛公が、後に出羽国(現在の新庄市)の初代藩主であることが縁。
自然あふれる個性豊かな山々に囲まれたまちです。

萩っ子歴史探検隊

戸沢政盛公

新庄まつり｜260年超の歴史がある。ユネスコ無形文化遺産。



埼玉県飯能市

平成15年11月1日盟約

市制施行｜昭和29年
主な交流｜飯能まつり
　　飯能新緑ツーデーマーチ

江戸時代、松岡城主で水戸藩附家老を務めた中山信吉公の出身地が飯能市であることが縁。
市域全体が奥武蔵県立自然公園に属しており、スギ・ヒノキの「西川材」の産地として有名。

ツーデーマーチ

中山信吉公

飯能まつり｜山車・神輿が見どころ。10万人が集まり賑わう。

□ 市章（昭和30年2月19日 制定）

高萩市の「高」を、簡潔に図解化したもの。
市の円滑協力性と発展性を強く表現しています。

□ 歴代市長

代	氏名	就任	退任
初代	小峰 威夫	昭和 29年 11月23日	昭和 33年 12月24日
2・3・4	安村 篤	昭和 33年 12月25日	昭和 45年 12月24日
5・6・7	鈴木 藤太	昭和 45年 12月25日	昭和 57年 12月24日
8	大高 省三	昭和 57年 12月25日	昭和 61年 1月 30日
9	鈴木 藤太	昭和 61年 3月 2日	平成 2年 3月 1日
10・11・12	大久保 清	平成 2年 3月 2日	平成 14年 3月 1日
13	岩倉 幹良	平成 14年 3月 2日	平成 18年 3月 1日
14・15	草間 吉夫	平成 18年 3月 2日	平成 26年 3月 1日
16	小田木 真代	平成 26年 3月 2日	平成 30年 3月 1日
17・18	大部 勝規	平成 30年 3月 2日	在任中

□ 高萩市キャラクター

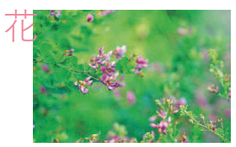
はぎまろ

市の花「はぎ」を
モチーフにデザイン

はぎロードに突如現れた萩の妖精「はぎまろ」。
10歳の男の子で、扇で「元気」「やる気」「輝き」の風を送ります。

□ 市の花・木・鳥（昭和49年3月29日 制定）

花



はぎ

『秋の七草』の筆頭であるはぎ。優美な花と強い生命力をもち、市名の一部にもなっています。はぎのように、まちの力強い発展を願います。

木

まつ

古来よりめでたい木といわれ、市内の海岸・山地などに多く生育。旧町名の「松原」「松岡」など、松にちなんだ名前があります。

鳥

きじ

古来より愛情の深い鳥として知られ、市内にも数多く生息。きじのように、あたたかい気持ちに包まれたまちづくりを願います。

□ 上水道配水の状況（資料：水道課）

年度	供給区域内の人口(人)	給水人口(人)	給水戸数(戸)	普及率(%)	年間給水量(千 m³)	年間有収水量(千 m³)	水道料金	
							年間収入(千円)	1m³あたり平均料金
平成25年	29,836	28,796	11,992	96.5	3,300	3,215	612,498	191
平成30年	27,961	27,252	12,053	97.5	3,228	3,055	591,705	194
令和5年	25,752	25,227	12,022	98.0	3,010	2,673	520,171	195

（各年 3 月 31 日現在）

□ 下水道事業実績（資料：日立・高萩広域下水道組合）

行政区域面積(ha)	行政区域人口［A］(人)	供用開始区域			普及率［B］／［A］(%)	水洗化率［C］／［B］(%)
		面積(ha)	人口［B］(人)	うち水浄化人口［C］(人)		
19,365	26,151	1,093.0	23,954	21,415	91.6	89.4

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

□ ごみ処理の状況（資料：環境市民協働課）

年度	収集戸数(戸)	稼働日数(日)	搬入量(t)	1日平均搬入量(t)	処理量		
					焼却(t)	埋立(t)	資源化(t)
平成25年	11,757	310	9,893	32	7,194	1,046	2,564
平成30年	11,704	310	9,122	29	6,935	1,088	1,910
令和5年	11,790	310	8,967	29	7,890	1,117	1,032

※令和 5 年度からは、高北清掃センターで広域処理

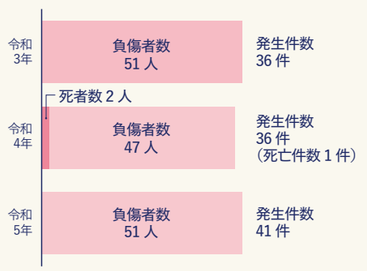
災害・事故

□ 救急出動
（資料：高萩市消防本部）

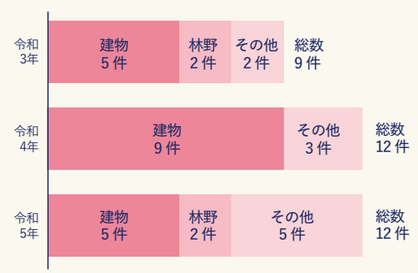
（件）

	火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	総数
令和3年	4	0	58	17	6	167	6	8	879	170	1315
令和4年	5	3	79	13	4	170	3	7	1060	178	1522
令和5年	3	2	55	13	12	219	8	15	1220	179	1726

□ 交通事故｜人身事故
（資料：茨城県警 HP 内 交通総務課調製「市町村別交通事故発生状況」より）



□ 火災発生
（資料：高萩消防本部）



2024
NOV.23

Takahagi 70th

高萩市市制施行70周年記念・市勢要覧特別版

高萩市民の歌

作詞　寺崎途至夫
補作　森　菊蔵
作曲　山路進一

一
深いみどりの　阿武隈山脈よ
きようも　高萩　ほら　日本晴れ
ひかる家並よ　田よ畑よ
幸よ　実りよ　みんなの誇り
そうだ　つくろう　豊かな街を
手と手　つないで　さあ　高萩を

二
咲いたはまなす　夢呼ぶ花よ
香り　高萩　ほら　つつんでる
秋の紅葉よ　ダムに映え
川が潮が　みんなを招く
そうだ　のばそう　自然の街を
こころ　ひとつに　さあ　高萩を

三
谷を流れる　花貫関根
明日も　高萩　ほら　ながれてる
昇る朝日よ　太平洋よ
意気よ　力よ　みんなの希望
そうだ　めざそう　住みよい街を
ひとり　ひとりが　さあ　高萩を

TAKAHAGI CITY ANNIVERSARY

高萩市市制施行70周年記念・市勢要覧特別版

発行日　令和6年11月
発　行　高萩市
〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1
TEL.0293-23-1111

https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/